

皆さん明けましておめでとうございます。令和3年がスタートしました。今年の年末年始はいかがでしたか。いつもと違った場面も

多々あったかと思いますが、健康に過ごせましたか？新型コロナウイルス感染は未だ収まっていません。感染状況の悪化に伴い、本当に大事なこと、大切なことを今一度考え直す必要があります。学校生活という動きを止められない以上、一人一人の感染防止対策が重要になってきます。基本的なことですが、マスクの着用や手洗いだけでもしっかりと意識してください。また食事のマナーも守りましょう。体調がすぐれない時は休養を十分にとり、生活のリズムを整えてください。10代の感染者が少ないのは、体力もあり、免疫力もあるからだと思います。特に学期初めの2週間は要注意です。この間には大学入学共通テストもあります。1月下旬以降は新入大会が始まる部もあります。通常の活動が普通にできるように一人一人が意識を高め、感染防止に努めていきましょう。万が一体調がすぐれない時は早めの休息をとってください。決して無理をしないように。

冬季休業中の各部の活動ですが、サッカー部は東播地区予選を戦い、ベスト8(5位)で県新入大会出場を決めました。男女のバレー部は、男子が東播地区大会優勝、女子は初戦敗退から敗者復活戦に回り、代表決定戦で勝利しともに県新入大会出場です。男女のバスケット部は、男子は2回戦敗退、女子は県大会出場を決めました。吹奏楽部は、アンサンブルコンテスト東播地区予選に出場し、惜しくも県大会出場を逃しましたが、木管八重奏のチームが金賞で連盟賞をいただきました。

12月31日神戸新聞北播版には、先日の本校生活科学科が受賞した地方創生☆政策アイデアコンテストでの受賞作品についての記事が掲載されていました。動画配信の様子や表彰式での写真等掲載していただきました。多くの方々に興味を持っていただくためにはこのような形での広報は大切です。今年は校外での活動もなかなかできず、広報活動も十分にできない中ではありますが、本校の生徒たちは本当によく頑張ってくれています。少しでもそういった頑張りが伝えられるよう、今後も工夫をして地域連携を進め、今だからこそできることにチャレンジしていいと思います。頑張りましょう。

さて、今年も箱根駅伝ではドラマがありました。最終区で3'19"差の逆転です。およそ1kmの差を逆転したことになります。大学としての箱根駅伝での経験値や選手の経験など多くのことが取り上げられていますが、「最後まで諦めないということ」に関していうと、とても良い例だったと思います。負けたチームは優勝を確信していたでしょうし、追い上げるチームも2番狙いだったと思いますが、勝負は下駄をはくまでわからないとはこのことで、改めて最後まで諦めない、自分の力を出し切ることの大切さを学ばせていただきました。抜かれた選手もこのことを糧に来年頑張ってくれると思います。また常勝、青山学院大学も往路での苦しい走りは主将のケガが直前に発覚したことによるものだとありましたが、チームの大黒柱が抜けるということは大きな損失です。主将(箱根駅伝に関しての)の代わりはいないわけで、難しかったと思います。それでも復路優勝。意地を見せただけでなく、自分たちの走りに徹することの大切さを教えてくれました。このことは、多くの部活動にも通じるものがあると思います。チームとして成熟して行くためには、個人がケガをしない、平常心を保ち持てる力を発揮する、諦めないことが普通にできることだろうと思います。そのための練習、トレーニングです。一人一人の意識を高めなければ仲間意識も育たないと思います。ミスしても補える、ミスしても責めない、チームとしての課題と個人の課題をしっかりと認識して前を向けるようになるれば、一人ではできないことがチームとしてできるはずです。まずは自分自身の意識を高め、自分を磨く行動に移していきましょう。そしてその行動がチーム全体の大きな目標に近づくことをそれぞれが理解して失敗を恐れず前に進んでいくことが大切です。一人一人の考え方やアプローチの仕方は異なっているのが当たり前です。その前提に立って、お互いを認め、やるべきことを継続し、力を蓄えてください。その力は必ず発揮される場面が来ますので。

3学期は、4月以降の新しい環境、立場での充実感を支える重要な時期です。3年生は高校生活総まとめの時期です。課題研究発表や卒業考査、大学入学共通テスト等最後まで気を緩めず取り組みましょう。2年生は進路実現に向け最終的な確認の時期となります。部活動においても県総体、コンクール等悔いの残らないよう諦めない姿勢で臨んでください。1年生は、上級生としての自覚を持ち、新1年生を迎え入れる準備をしてください。生徒の皆さん、そして保護者の皆さん今年もよろしくお願いします。

